

第2号議案

2026年度事業計画及び収支予算等の承認の件

2025年度の事業運営については、第1号議案でもご報告させていただいたとおり、2大事業である、『ICT活用推進事業』及び『ビジネスコミュニケーション教育事業』の普及に向け様々な取り組みを実施してきました。

『ビジネスコミュニケーション教育事業』としては、新入社員研修を中心にビジネスマナー研修を行う中、ビジネスマナー研修の1カリキュラムとして実施していた「電話応対研修」について、これまで実施してきた受講生のアンケート結果に応えるため、**新たな個別メニューとして実施することで、新入社員・若手社員が苦手とする「電話応対」に関する育成を強化**して参ります。

『ICT活用推進事業』としては、従来から実施してきた全国で視聴可能なICTセミナーのオンライン開催をベースとしたスキル醸成に活用することとし、静岡支部としては、**AI・DXに関する各種講座などの取り組みを強化**することで、より実務に寄り添った取り組みの推進を行ってまいります。

2026年度事業運営においては、これまで取り組んできた事業運営方法を継続するとともに、公益財団法人として普く広く協会事業のプレゼンス向上に向け、これまで以上に静岡県下の商工会議所様・商工会様との連携強化を図り、協会会員のみなならず地域の事業者の皆様に対して、事業運営の発展に資するような情報発信活動の充実を図って参ります。

特に、昨今の経営や労働環境等の変化を受けて減少が懸念される「協会事業」への参加者の拡大を目指すため、協会ホームページや情報誌、メルマガ、SNSや各種広報メディア等を活用して各種情報を広く発信し、『ビジネスコミュニケーション教育事業』や『ICT活用推進事業』を通じて、地域課題の解決や地域活性化に寄与した事業展開を目指して参ります。

I 基本方針

『ビジネスコミュニケーション教育事業』では、これまで培ってきた受講生のアンケート結果を活用し、様々な機会を通じて、地域の皆様の電話応対品質・ビジネスコミュニケーション力の向上に取り組むとともに、より多くの方々に認知いただけるように事業紹介及び参加勧奨を行うとともに、**ビジネスマナー研修・電話応対研修等の実施結果についてHP等**を活用することで、事業内容の更なる充実に取り組みます。

『ICT活用推進事業』では、業務改革やコスト削減等の様々な課題解決に向けたDXによる実事例を蓄積し、地域の皆様への情報発信に取り組みます。

また、生成AI、AIエージェント等を活用した育成事業（セミナー、講座等）に取り組むことで、各企業の皆様の喫緊の課題である業務の効率化、効果的な事業運営に資することができるよう取り組みます。

また、不安定な世界情勢等を背景に対策が急務となっているサイバーセキュリティ対策について、本部セミナー、社員育成用の協会特典（標的型攻撃メール対策訓練、eラーニング等）等により、皆様の課題解決にお役立ていただける事業展開を目指して参ります。

Ⅱ 具体的な取り組み

1. ビジネスコミュニケーション教育事業

- (1) これまで培ってきた受講生アンケートを活用したニーズ醸成・メニュー展開を行うことで、近年、現実的な課題となっている「電話応対に対する苦手意識の克服」「敬語（尊敬語、丁寧語、謙譲語）の使い分け」等に代表されるビジネススキルの早期習得を目指すため、**電話応対に特化した育成メニューを充実**させ、地域の皆様に普く広く貢献できるよう受講環境の更なる充実を図っています。

また、研修の実施模様、受講生のアンケート結果等についても、HP等を活用し、情報発信を進めて参ります。

◆コミュニケーション教育関係（コンクール勉強会含む）参加者目標 800名

- (2) 電話応対コンクールについては、前述した最近の若者の「電話恐怖症」克服への処方箋として、これまで参加いただいている事業所様及び、未参加事業所への積極的な参加勧奨を行い参加拡大に取り組めます。

静岡県大会のスケジュールについては、

- ① 4月1日のコンクール問題の発表を受け参加者募集を開始します。
- ② 今年のコンクール問題を解説する「説明会」を6月上旬からWeb配信し、予選参加に向けた実践的な「勉強会」については7月上旬から7日間13コースを設定して「電話応対の基本」を初歩から学んでいただきます。
- ③ 予選競技は電話録音方式により8月3日～6日に実施し静岡県大会出場者を決定します。
- ④ 静岡県大会は9月29日（火）静岡県男女共同参画センター（あざれあ）にて会場開催とし、優勝者・準優勝者2名が全国大会に出場いただきます。
- ⑤ 第64回全国大会は11月13日（金）に「福岡市」で開催いたします。

◆コンクール目標参加人数：150名

- (3) 電話応対技能検定については、昨年と同様に4級検定の受検者拡大を図るために静岡独自施策として取り組んでいる「ビジネス電話応対セミナー（基礎編）」とのセット受検を継続実施します。

また、受検者拡大の取り組みとして、大学・高校等の教育機関やコールセンター等を運用している事業所に対し、**検定の仕組みを育成手段として活用**いただくよう提案を継続するとともに、合格者に対しては、更に上位級へのチャレンジを促すなど、受検者数の確保に取り組めます。

また、3級検定について受検しやすい環境づくりとしてWeb研修やWeb受検を継続して提供することとします。

◆電話応対技能検定(もしもし検定)受検者目標 80名

2. ICT活用推進事業

- (1) ICT活用推進事業については、全国から視聴可能な広域オンラインセミナー及びICT講座について、より多くの皆様に視聴していただくため全国で開催情報を過去参加者へのメルマガ発信や各種媒体等での周知を充実し、ICTを駆使した取り組みを今後とも積極的に実施していきます。
- (2) 2026年度については、2025年度からトライしている商工会議所様と連携した実業務を踏まえたDXの取り組みを更に展開していくことで、地域企業の課題解決や生産性向上に関する取り組みを実施していきます。
- (3) 生成AI及びAIEージェント等のツールを更に活用していくため、商工会議所様・商工会様・各ステークホルダーと連携した新たな講座を新設し、実際に体験し成果物を持ち帰ることで、その後の事業展開に役立てられるよう取り組みを推進して参ります。
- (4) 2024年度から開始した「ITパスポート取得講座」も、各企業において、AI・DXを推進する核要員に必要なスキルとして、2026年度においても、「ITに強い人材の育成」「ITに強い会社になる」ためのご支援をさらに進めていくことで、地域の皆様への積極的な貢献を実施していきます。

◆情報通信セミナー 開催数目標 30回、参加者数目標 1,100名

3. 会員サービスの充実及び新規会員獲得活動の強化

- (1) 協会の事業活動を通じ協会役員等の意見をお聞きし、会員の満足度の向上を目指すとともに、協会事業に参加いただいた会員以外の方に対する認知度向上に向け、タイムリーな情報提供やイベントへの参加勧奨を積極的に行い、新規会員獲得活動を強化して参ります。
- (2) 会員無料サービス(「標的型メール攻撃訓練」「eラーニングサービス」「インターネットセミナー」)については、静岡における利用状況も好調なことから引き続き、会員誘引ツールや退会防止ツールとして更なる継続活用を促すことといたします。
また、新たに会員となった方に対して、最新トピックス、人気のあるセミナーメニューのご紹介を行う等、入会いただいたタイミングを捉えたご案内や業種等に応じた会員無料サービスの活用シーンをご提供することで、会員メリットを積極的に発信して参ります。
- (3) 毎年実施しています静岡支部独自の会員拡大キャンペーンを継続実施するとともに、地区協会単位で会員獲得に顕著な成果を上げた会員に対し表彰を実施することとします。

◆年度末会員目標数：1,250会員以上

4. ユーザ協会の盤石な基盤確立に向けた取り組み

(1) 地域における事業活動の活性化

静岡県下の会員事業所等のご要望をユーザ協会の事業活動にタイムリーに反映させるため、各地区協会の幹事商工会議所様・商工会様に対して定期的な情報提供を行うとともに、必要に応じて幹事を対象としたブロック会議を開催する等、必要な情報交換を行い協会事業の活性化に取り組むことといたします。

(2) 協会組織の効率化の取組み

地区協会の効率化については、2024年度静岡支部理事会において付議し、検討を進めてきたところですが、2025年度に開催したブロック会議等を踏まえ、2027年度7月から、現在の7地区協会から3地区協会に見直すこととしたい。

また、見直しにあたっては、以下の方針を踏まえ2026年度中に検討事項について整理するとともに、2027年度の地区定期総会、支部理事会を経て、7地区体制から3地区体制への見直しを図ることとします。

<ユーザ協会本部方針>

- ・ユーザ協会における昨今の事業環境の変化や協会運営の将来像を見据え、組織・人員体制・協会組織の在り方を踏まえ、組織体制の効率化に向け、各支部単位の状態に応じたゴールの検討を進める。

<静岡支部事務局方針>

- ・従来からの会員サービス及び地域における公益事業活動は継続・活性化を図る
- ・効率化によって享受したメリットを活かし、地区収支にとらわれない事業活動の充実を図る。
- ・地域対応の窓口として、各商工会議所様・各商工会の皆様との関係性は、各種取り組みを通じて、維持・発展させることとし、各種要望・機会の充実を図る。

<2027年7月の統合に向けた2026年度中の整理項目>

- ・地区協会理事等役員の見直し
- ・地区協会名の決定
- ・地区協会の定数及び議決
- ・上記を含む地区会則の見直し 等

[新] 地区協会名 (案)	(現) 地区協会名
静岡東部地区協会	静岡東部地区協会、岳南地区協会、伊豆地区協会
静岡中部地区協会	静岡地区協会、志太榛原地区協会
静岡西部地区協会	浜松地区協会、中東遠地区協会